

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男  
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号  
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)

## 第965回

2011年8月9日(火) 晴 第6回

～ 会員増強および拡大月間 ～

斉唱 それでこそロータリー  
 出席 会員 60名 (出席率算入人数 55名)  
 出席 50名 出席率 90.91%  
 前々回補填率 98.18%(7月26日分)  
 ゲスト RI 第2760地区西名古屋分区  
 ガバナー補佐 三浦 和人さん  
 RI 第2760地区  
 地区副幹事 倉地 伸幸さん  
 RI 第2760地区西名古屋分区  
 分区幹事 白藤 憲雄さん  
 米山奨学生 キム・ウォンギョンさん

### 会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆様、こんばんは。

本日は我々メンバーの佐々木元彦さんのお母様がお亡くなりになり、大勢の方がお葬式に、また昨日のお通夜にご出席いただきました。佐々木さんに代わりまして、御礼を申し上げます。



本日はガバナー補佐訪問という事で、ガバナー補佐の三浦さん、地区副幹事の倉地さん、分区幹事の白藤さんをお迎えして、3時40分から4時40分まで会長幹事懇談会が催されました。それに引き続いて、クラブ協議会が当クラブの委員長さんにご出席いただきまして、16時50分から18時過ぎまで開催されました。ガバナー補佐や地区副幹事から色々なお話を承りました。これを参考に今後のクラブ運営に活かして行きたいと考えております。

ガバナー補佐と分区幹事は我々のメンバーであります。地区副幹事の倉地さんは、一宮中央RCからご出席いただいております。お忙しい中、ご出席いただきまして感謝申し上げます。

この後、三浦さんには卓話をお願いしております。皆様の御清聴をお願いし、会長あいさつに代えさせていただきます。

### 第967回例会(8月30日)のご案内

ゆったり例会

於：キャスルプラザ 1F「ローズガーデン」

## 幹事報告

幹事 入谷 直行さん

1. 次回8月16日(火)はお盆休みで休会です。
2. その次の例会は、ガバナー公式訪問で東南RCと合同となり、8月24日(水)12時30分から当ホテルとなっております。くれぐれもお間違いの無いようにお願いいたします。
3. 事務局の夏季休暇は、8月11日(木)から8月16日(火)となっております。この間の連絡先は私の携帯電話 090-3150-7825までお願いします。
4. 本日例会後に臨時の理事会を10分程開催させていただきます。理事の方は少し残っていただきたいと思っております。

## ニコボックス

- ◆ 本日のガバナー補佐訪問、よろしく申し上げます。  
 西名古屋分区 ガバナー補佐 三浦 和人さん  
 地区副幹事 倉地 伸幸さん  
 西名古屋分区 分区幹事 白藤 憲雄さん
- ◆ 本日はガバナー補佐訪問です。三浦和人さん、よろしく申し上げます。

加藤 英敏さん 出田真太郎さん 江上 隆夫さん  
 白銀 義昭さん 川村 繁生さん 伊藤 圭一さん  
 細井 俊男さん 中村 勝さん 宮崎 良一さん  
 伊藤 博昭さん 山本 郁矢さん 入谷 直行さん  
 山本 誠一さん 木下 福郎さん 本多 利郎さん  
 児島 徳和さん 武藤 正行さん 林 隆二さん  
 東山 直史さん 安藤 修さん 森田敏二三さん  
 新原 尚さん 久米 伸治さん 水野 俊男さん  
 三島多恵子さん 黒田 康正さん 野々村憲吾さん  
 浅井 浩さん 田中 省三さん 木村 猛さん  
 川瀬 悟さん 犬飼りさ枝さん 吉木 邦男さん  
 中西 芳子さん 鈴木 清詞さん 坂田 信子さん  
 猪村 美之さん 小山 慎介さん 牧野 好弘さん  
 長尾 浅吉さん

本日合計 56,000円 累計 264,000円

## アンチエイジングエクササイズ

### ■環境保全・保健問題委員会

委員長 中村 勝さん

皆様、こんばんは。今日も楽しいアンチエイジングエクササイズの時間が参りました。

協議会で少し早いので、付いていけないという話がありましたので、今日はゆっくりやらさせていただきます。

## ガバナー補佐卓話

### ■ガバナー補佐卓話

西名古屋分区分ガバナー補佐 三浦 和人さん

2760地区の松前ガバナーの方針は、退会防止と女性会員の増強という事で、今月末の東南RCとの合同例会で色々お話されると思いますので、これについては次回松前ガバナーからしっかり聞いていただきたいと思います。



東日本大震災についてですが、被災したRCは45クラブ、会長さんが亡くなられたのは1クラブとなっています。詳しい被害状況はまたこれから来ると思いますので、支援の方を宜しくお願いたします。

今日は、最近の経済情勢と大震災という事でまとめたいと思います。お手元の資料にアメリカ雑誌の表紙があると思います。これはアメリカの国債がワンランク引き下げられる前の雑誌です。ドイツのメルケル首相とオバマ大統領が和服を着ています。これはどういう事かと言うと、日本の様にならないように気をつけなければならないというメッセージです。アメリカは、財政赤字且つ国債の発行も出来ないような状況で、8月2日には本当に大変な事になる直前でした。ドイツは財政赤字は無いのですが、ユーロ圏でギリシャやアイルランド等で財政赤字があり、ドイツの国民がそちらの方へ援助する事に非常に反対しているものですから、メルケル首相が非常に大きくなっているという事を象徴して両首脳共日本化しようとしている。それを避けなければいけないと。日本は財政赤字が世界一旦つ経済的にも停滞しておるという前提での話です。

その中で今回、東日本大震災と東京電力の福島原発事故が起きた訳ですが、中部地方にどんな影響が出ているかというのを表で出してあります。これはアエラの今月号ですが、まずマンションの価格がどのように変化したかが出ております。中部地方も東日本大震災の関係で値段が下がった所も出ています。次にゴルフ場の関係も出ています。80km圏内の主なゴルフ場ですが、茨城県から宮城県までかなりのゴルフ場がある訳ですが、被災しているという事でどういった結果になったかと言うと、ゴルフの会員権は値下がりです。ここに載っているのは、春日井カントリーと桑名カントリーです。東北の大震災、福島原発事故は中部地方に直接影響している部分が結構多いという事をご理解いただきたいと思います。

放射能汚染されたゴルフ場を綺麗にするために、表土を剥がしてもう一度植物を植え直すとなると、一説には68億円位かかると言われております。もちろん洗って済ませるにしても億に近いお金です。例えばこれも東京電力の福島原発事故による被災にもなる訳で、補償の範囲に含まれるかという問題が出てきます。補償の範囲に含まれるとすれば、最終的には皆様の税金からという事になります。ゴルフ場まで補償するか分かりませんが、補償しないという事は無いのではないかと思います。ですから、ゴル

フ場まで考えてしまうと、今、国が補償制度を作っておりますが、とんでもない天文学的な数字が補償の範囲に含まれます。これを東電と国と共同でやろうと言っておりますが、東電の財産では当然足りません。まともにやったら国民の負担が莫大なものになります。且つ、この表紙を見ていただければ分かりますが、財政支出をカットし、財政赤字を無くしなさい。健全な財政にして、規制を緩和しもっと経済を進展させなさいと言っております。財政をカットするという事は、要するに余分なお金を払うなという事です。日本は原発を補償する場合、ますます国家財政が大きくならざるを得ず、これは大変な事です。

ロータリーでは、今ガバナー会で9億円位を集めて、1億円位を既に東北の被災地に送っているようですが、残りのお金で1500人位の両親を亡くした孤児が、大学を卒業するまで学費の面倒を見るような体制を取ろうではないかという事で、議論されているそうです。ただ、東北の被災したクラブは、そんなお金があるのだったらすぐにでも欲しいという事で、どうするか色々議論されているそうです。

アメリカでは公的扶助を余りしません。実は、下町の教会では朝炊き出しをします。例えばロサンゼルスに住んでいて、朝食事が出来ないという人はまず居ないと思います。要するに、民間の扶助が、教会を通じて、あるいは、教会よりも発達しているからです。

日本の場合は、年末の炊き出しはありますが、残念ながらお寺で朝炊き出しをやっている所は余りありません。国の財政をカットするとはどういう事かと言うと、民間でやれる事はやらなければならないという事です。ロータリーでポリオプラスや1500人の孤児を大学まで補償する事も含めて政府がみんなやるという時代ではもう無いのです。要するに、民間でやれる事はやらなければいけないという時代にますますなりつつあります。日本は特に原子力で被害を受けているという事で大変です。

そこで、福島原発について皆様にもお考えいただきたいと思います。今日のテレビで原子力安全委員会の斑目委員長は、今まで安全基準をどのようにやってきたか30年前に遡って検証するとおっしゃっています。斑目さんは何年前に国会で答弁に立っています。なぜ東電の福島原発が5.7mの津波の想定で良いかについて、それ以上想定する必要は無い、そんなものは彗星が落ちてくる可能性と近い、絶対に安全で事故が起こるはずがないという話でした。

資料1をご覧ください。三陸海岸の津波の歴史を出しました。2011年3月11日の津波を除き22回です。869年から2011年までで、約50年に1回地震がありました。

869年の地震については、今考古学者が地層調査をしていまして、内陸の3kmあるいは5km辺りまで当時の地層で海の砂が運ばれている地域があるという事が今年の地震よりずっと前に発見されています。

明治29年の大地震はマグニチュード8.5で、死者21887名です。今日現在行方不明者合わせて20513名ですから、今回の地震の方が少し少ないのですが、明治三陸大地震ではこれだけの死者が出ています。津波の高さは30mだと言われております。この明治29年の地震に遭った人により東北には今でも残されているそうですが、この下に家を造るなという石碑があるそうです。現にその石碑の下には今回も津波は来ていません。

1933年、昭和三陸津波では死者が3000名近くでしたが、同じようにマグニチュード8.4です。死者が何故少なかったかと言うと、まだ明治29年の教訓が生きていたからではないでしょうか。明治29年の教訓で、「てんでこ」という言葉が東北にはあるそうです。要するに津波が来そうだったら、夫や妻を捜すとか、兄弟を捜すとかをせずに、てんでばらばらに逃げなさいという言葉だそうです。今回の津波でも、家に貴重品を取りに行った等で被害にあった方がみえます。津波は高いところで40m近い所まで駆け上がっています。ですから、当然堤防はもたなかった訳です。これを見ますと、結構三陸沖は津波が来ています。

都市建設をどうするかという事で、できるだけ海岸地域には住宅を造らないで高台へもって行こうとしています。海岸地域には、工場や市場を造るのですが、土台を高くして、下を波が通りすぎるような空間を造るという計画がされています。高台に住宅を造るのに今困っている事は、高台に縄文時代の住居跡が沢山ある事です。文化財保護法によって、その発掘調査が終わらないと、建築許可が出ません。縄文時代の都市建設は、高台に住宅を造れという事です。縄文時代が4000年位続いていたとし、50年に1回だとすると、津波が80回位くる訳です。縄文時代の人々は、津波が来るのを覚悟して、高台に住居を造っていた様なのです。たまたま昭和あるいは平成の我々が、津波が来るというのを無視していた訳で、過去を調べれば分かる訳です。

ですから、5.7mしか津波が来ないなどという事は歴史的な事実と全然合っていません。原子力安全委員会は、なぜ5.7mという設定をしたのかよく分かりません。私に言わせれば、不可抗力の天災ではなくて、まさに今回は人災です。東電の福島原発は元々20～25mの高さの台地だったそうです。原子力発電所を造るために削ったそうです。要するに、海に近いほうが冷却用の海水を効率的に取りやすいという事です。また、非常用のディーゼル発電機が半地下にあり、これはハリケーンを心配するアメリカの設計でした。

原子力発電に賛成反対色々な意見がありますが、安全性を考えて造る事ができない訳ではないと思います。ただ、そのように造ってあるかが今問題です。この色々な問題について、政府に判断を任せるよりも、やはり民間の我々が色々考えて、当然これから予算は足りませんので、政府の予算の出ない所は、民間で補っていく必要があります。特にロータリーの指導的な立場に立っている人は、民間での仕事が重要になるのではないかと思います。またそうしないと日本が再生出来ないと感じます。ロータリーの仕事はますます重要な事が出てくるかと思えますので、今後とも宜しくお願いいたします。

#### ■地区副幹事あいさつ

地区副幹事 倉地 伸幸さん

松前ガバナーは退会防止という事を言ってみるわけですが、これは82クラブ色々な所で意見が交わされています。今日、会長幹事会で、貴クラブは退会した人が2名戻ってくる話があると聞きまして、やはり魅力があるから帰ってみるのだらうと思いました。



私達のクラブは、辞めた人は絶対に戻ってきません。しかし、ここで一つ提案したいのですが、私達のクラブは、会員が亡くなりますと奥様に是非入ってくださいと勧めます。半年以内に入られましたら、入会金は無しという事を決めておりますので、6ヶ月以内に入ってくださいという事で入っていただきました。その方はもう2年になりますが、入って良かったと言っていておられます。どうか皆様のクラブもそういう会員増強の方法もあると思いますので、是非宜しくお願ひしたいと思います。

また、松前ガバナーは今年80歳を迎えられまして、ガバナーエレクトの時に、2回手術をされて、胃が3分の1しかありません。今私共がいただいたお食事は恐らく出来ないとありますが、頑張ってみえます。ガバナー訪問の時には温かく迎えていただきまして、健康を理由に食事をされないとありますが、その点は宜しくお願ひいたします。

#### ■分区幹事あいさつ

西名古屋分区 分区幹事 白藤 憲雄さん

三浦先生が会長の時に幹事だった関係で、僕には非常に重い分区幹事という役をいただきました。

最初に南RCへ行って参りました。120名からみえますし、女性会員は受け入れておりません。次に瑞穂RCへ行きましたが、これも女性会員は認めておりません。

古いクラブは、年配層と若い層の段差みたいなものを感じます。うちのクラブはそう感じた事は一度も無く、皆様には良くしていただいて21年過ごさせておられますが、他所のクラブへ行くとそういう事も感じました。

その後、東南RCへ行きました。知った人も多く居ましたので、気分的にも楽でした。背中に何トンもの重量を背負っていると感じる事もありますし、そうかと思うと、中部名古屋みらいRCへ行きましたら、一番新しく、大垣の方、各務ヶ原の方、豊橋市役所の職員さん等がおみえになり、ロータリーの発足当時はこんな感じからスタートしたのではないかと思う程、親しみやすいところでした。インターナショナルな方もみえて、月に一回くらいは英語の例会にしようかと言っておられて、そうなったら行けないなと思ったりしました。

8月30日は名古屋RCで、31日は名駅RC、1日は西RCです。格式や気品をずしっと感じながら、一つずつ回り、勉強させていただいております。

#### ■ 臨時理事会 議事録 ■

報告者 入谷 直行さん  
日時 2011年8月9日(火) 例会終了後  
場所 名古屋マリオットアソシアホテル 17F『ルビナス』  
出席者 山本、伊藤、中西、宮寄、入谷、久米、鈴木、武藤、浅井、東山、木村、本多、細井 17名中13名参加

#### ◎審議事項

一、台北ミレニアム RC との共同事業の件  
大洋学園への400万の振込みに関しては、昨年度すでに承認されている事業内容のため早めに振込みをする。  
会長・幹事が日程調整後、現地にて目録贈呈を行う。

